

岩菅山～切明温泉～鳥甲山 山行報告

(山城) 志賀高原周辺

(コース) 一の瀬登山口～岩菅山～鳥帽子岳～切明温泉

切明温泉～ムジナ平～白嵩の頭～鳥甲山～屋敷登山口～ムジナ平

(日時) H27年9月28日(月)～10月2日(金)

(参加者) CL 鈴木憲二 鈴木愛子

(山行タイム)

9/28(月) 移動日 道の駅 北信州山ノ内 (泊)

9/29(火) 道の駅 北信州山ノ内 5:30⇒切明温泉 駐車 6:30 着 7:30 発⇒タクシーで一の瀬登山口へ
→ノッキリ 11:05 着 11:31 発⇒岩菅山頂上 12:15→頂上直下の避難小屋 (泊)

9/30(水) 避難小屋 5:40→裏岩菅山 6:30→鳥帽子岳 8:30→切明温泉 14:00 着 (泊)

10/1(木) 切明温泉 4:30⇒ムジナ平登山口 駐車 5:00 発⇒鳥甲山頂上 9:50 着 10:15 発→
屋敷登山口 13:40→ムジナ平 15:10 着→日帰り温泉 草津の道の駅 草津運動茶屋公園 (泊)

10/2(金) 道の駅 草津運動茶屋公園⇒帰葉

(山行報告)

9/29(火) 天気 晴れ時々曇り

道の駅から切明温泉まで行き、前日に予約しておいたタクシーに切明温泉まで来てもらい、タクシーで、岩菅山の一の瀬登山口まで行く。

リュックに2ℓの水を持ち、歩き始め、アライタ沢であと1ℓの水を補給する。計3ℓの水が重い。岩菅山頂上近くの避難小屋(泊)の予定で、その近くに水場がないので仕方がない。

まだ残っていたアキノキリンソウ、リンドウ、ゴゼンタチバナの赤い実に励まされて登る。

頂上では、本白根山、横手山、浅間山、妙高山、妙義山等々が見え、しばし眺望を楽しんだ。

避難小屋では誰も来なく、私達だけの貸し切り状態であった。

14時頃よりガスってきて、夕方から翌朝まで物凄い強い風と雨が小屋の窓を叩きつけた。明日はどうなるだろうと、なかなか眠れなかった。



ノッキリからの岩菅山



ゴゼンタチバナの赤い実



岩菅山頂上にて

9/30(水) 天気 霧雨 風強し ガス深し 後 晴れ

霧雨、ガスが深く、風が強い中、5:40 出発。

夕べ、気温がかなり下がり、風が強かった為か、シラビソ、ハイマツ、ダケカンバ、ハクサンボウフウに似た花の枯れ枝等々が霧氷の様な状態になって凍っていて、とても綺麗であった。

裏岩菅山までの稜線の右側は草付きの斜面で、左側は森となっていて、晴れていたら、気持ち良い稜線歩きだろうに、ガスが深く何も見えなかった。裏岩菅山から烏帽子岳の間が少し紅葉していた。

烏帽子岳山頂に着いた頃より、ガスが切れ、晴れて来た。草津の山々、志賀高原の山々、妙高山、火打山、苗場山、昨年登った佐武流山、浅間山、遠く富士山まで見えた。烏帽子岳と書いてある道標はなく、GPSで確認した。



裏岩菅山への道のダケカンバの霧氷
枝の霧氷



紅葉したつつじの霧氷



ハクサンボウフウに似た花の枯れ



シラビソの霧氷



裏岩菅山の山頂にて



烏帽子岳

烏帽子岳の下りが、物凄い急坂で足場も悪く、歩きずらかった。烏帽子岳～笠法師山～幕営可能な広場の先あたりまで、道の両側は根曲がり竹の密生地帯で、ヤブこぎしなくて良い様に、根曲がり竹は、切り取ってあったのだが、その上が滑り易く、歩きづらいことこの上なかった。

相変わらず風は物凄く強くなっていたが、両側の根曲がり竹が私達の背丈よりも高く、風が私達にもろに当たらず、根曲がり竹に守られている感じがした。

間もなく切明温泉という所で、電力会社の取水口の建物があった。「関係者以外立ち入り禁止」と書いてあったのだが、ネット情報によると、その看板を無視して、その敷地内を通らせてもらえば良いとのこと。その通りにしたら、敷地内を出たら、「登山道⇒」の標識があった。切明温泉着 14:00。急坂の連続、悪路で疲れた。やはり地図の波線コースなのだ、と感じた。

10/1(木) 天気 晴れ時々曇り 後 雨

切明温泉から車で鳥甲山の登山口のムジナ平まで行く。ヘッ電をつけて 5:00 出発。小水の頭に、鎖と鉄梯子があり、急な岩場で、3点確保で登った。少し怖い所であった。

そこを過ぎると、シラタマの木が沢山続いていて、白いシラタマの形をしている花が、とても可愛くて元気をもらえた。

白嵐の頭を越え、カミソリ岩の所も怖かった。道が馬の背のようになっていて、両側が絶壁で切れていて、馬の背の部分に鉄のワイヤーが格子の様に張りめぐされていた。怖くて、とても立って進める状況

ではなく、馬に乗るような態勢でお尻を地面につき、座って足をワイヤーにのせ確保し、少しずつ進んだ。

鳥甲山頂上着 9:50。先客が一人いて、その方と山の話しに花が咲き、頂上で 25 分もゆっくりしてしまった。頂上は木々が邪魔して、あまり展望は良くなかった。でも木々の間から妙高山、火打山が見えた。頂上からは、屋敷登山口を目指して下りる。道々、秋山郷の集落、苗場山が良く見えた。まだマツムシソウが 5 株、ウメバチソウ、アキノキリンソウが少し咲いていて、その花達に会えて嬉しかった。1800m前後の所が、まあまあ紅葉が綺麗だった。天候のせいかな、すごく綺麗な紅葉ではなかった。

屋敷の登山口から車を駐車してあるムジナ平まで 7 キロの林道歩きが (1:30 歩いた。) 最初は小雨、ムジナ平の少し手前頃より、本降りの雨、風も強くなってきて、まいった。

それから草津へ向かい、大滝の湯で汗を流し、草津の道の駅で車中泊し、翌日帰葉した。



鳥甲山



屋敷登山口方向の山



鳥甲山頂上にて

今回の山旅を終えての感想

鈴木愛子 岩菅山から切明温泉までは地図の波線コースで、覚悟はしていたが、急坂の連続、足場は悪く歩きづらい道であった。

鳥甲山もムジナ平からのコースは、地図に上級者向け、と書いてあり、急坂の連続であり、鎖場、ヤセ根歩きがあり、気をぬけない所があった。

よく山を歩いていて、良い山だと、また来たいと思うのだが、今回の山は、以上の様な山だったので、一度登れば良いという感じで、また行きたいとは思わなかった。

鈴木憲二 昨年、佐武流山に行った時に見た、岩菅山～鳥帽子岳～鳥甲山の山々を一度縦走したいと思っていた。今回それが実現できた。

他の登山者とは行き会わず、避難小屋も貸し切り状態で、静かな山行が出来た。今度行く時は、鳥帽子岳下部のテン場が快適そうだったので、(水場も有り)そこに泊まりたいと思った。笠法師山下部の水場は使用できなかった。